

TOSHIBA

東芝パッケージエアコン
(天井埋込形ダクトタイプ)

気化式加湿器 取付説明書

形名 TCB-HS2802D

日本国内専用品
Use only in Japan



EB22578501-1

このたびは東芝パッケージエアコン用「気化式加湿器」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取付工事に際しては、この説明書をよく読み、正しい取付を行ってください。

安全上のご注意

“安全上のご注意”については、天井埋込形ダクトタイプ（室内ユニット）の据付説明書、取扱説明書もご覧になり、お守りください。

- 取付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。



警告

「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。



注意

「誤った取り扱いをすると人が傷害（※1）を負う可能性、または物的損害（※2）が発生する可能性があること」を示します。

※1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※2：物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害をさします。



警告

工事の部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する

付属部品および指定部品を使用しない場合には、水漏れや感電・火災の原因になります。

清掃または点検をする際には、必ず機器の運転を停止させ、電源を切る

機器停止と電源を切らないで作業をすると、けがや感電・火災の原因になります。

消防法、水道法等に規制される取り扱いについては、専門業者に依頼する

取付は、販売店または専門業者に依頼する

ご自分で取付工事を行うと、水漏れや感電・火災の原因になります。

取付工事は、この取付説明書に従って確実に行う

取付に不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。

電気工事（アース工事を含む）は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および

取付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する

電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災の原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する

接続や固定が不完全な場合は、火災などの原因になります。



注意

ドレン配管は、取付説明書に従って確実に排水するように配管し、結露が生じないように断熱または保温する

配管工事に不備がある場合には、屋内に水漏れし、家財などをぬらす原因になります。

給水配管は、取付説明書に従って確実に配管し、結露が生じないように断熱または保温する

配管工事に不備がある場合には、屋内に水漏れし、家財などをぬらす原因になります。

取付作業のときは手袋（※）を着用する

着用しないと部品などにより、けがをする原因になります。（※軍手などの厚手の手袋）

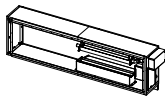
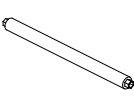
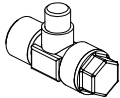
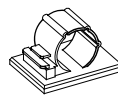
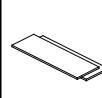
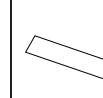
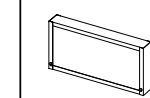
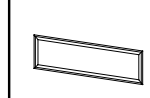
取付上のご注意

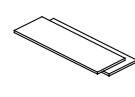
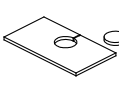
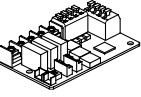


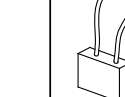
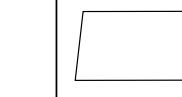
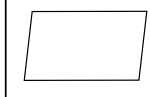
- 加湿器の取付工事は、必ずエアコン本体を据え付ける前に行ってください。加湿器組み込み後の輸送はしないでください。
- ヒューミディスタット（23Hu）（現地手配）は、湿度低下で接点が閉となる形式で接点容量 200VA 以上のものを準備してください。
- 加湿器給水配管側と電装部側の天井面に□450mm 以上の点検口を必ず設置してください。
- 供給水質は、上水道または同等以上。
- 給水は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン〔型式認可品〕（現地手配）をご使用ください。
- 現地手配の給水配管に死水排水バルブの取付をおすすめします。冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しないときは、給水配管内の水が腐ってしまいます。その水が加湿（暖房）シーズン開始時に加湿器に給水されますと匂いの発生・菌の繁殖の原因になります。加湿（暖房）シーズン開始時の運転前に、死水排水バルブと給水用サービスバルブを開き、配管内を新しい水に入れ換えてから使用してください。
- 使用給水圧力は 0.05 ～ 0.5MPa（ポンプで給水する場合は 0.05 ～ 0.3MPa）・水温は 5 ～ 30℃です。この範囲内でご使用ください。
- 使用給水圧力範囲を超える場合は給水系統ごとに別の減圧弁（現地手配）を設け、使用範囲内の圧力になるよう調整してください。
- 加湿（暖房）シーズン後は、給水用サービスバルブを必ず閉めてください。
- 通気に腐食性ガス・塩分・オイルミストを含まないようにしてください。
- シーズンイン時には、給水ストレーナーの清掃を行ってください。
- 現地手配の給水配管にも断熱処理を行ってください（断熱材現地手配）。給水配管内の水が凍結した場合、水の体積膨張により配管や接続部を破壊し、漏水の原因となります。

1. 仕様

形 名		TCB-HS2802D
適用室内ユニット形名	店舗用 AID-機種	*P224形, *P280形
	マルチ用 MMD-機種	*P224形, *P280形
電 源		単相 AC200V 50/60Hz
周囲温湿度		5℃～40℃ 90% RH 以下
送風圧力損失		8Pa

2. 付属部品 (次の部品が入っています)

品名	加湿器本体	給水軟銅管	ストレーナー	クランプ	断熱材 A	断熱材 B	加湿エレメント	エリミネーター
形状								
数量	1	1	1	2	2	1	2	1

品名	断熱材 C	断熱材 D	入出力基板	通信ケーブル	スペーサー	短絡コネクタ	取扱説明書	取付説明書
形状								
数量	2	大 1 小 1	1	1	3	1※	1	1

その他に固定バンド 4 個

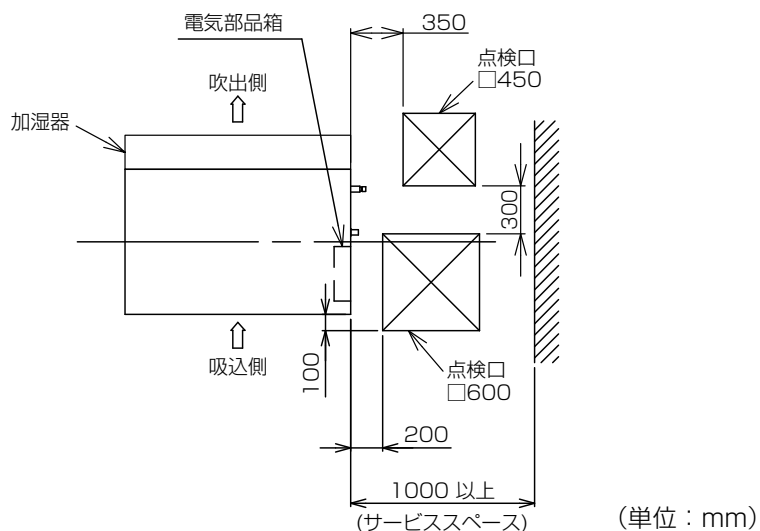
※短絡コネクタは入出力基板に接続しています。

3. 取り付け時の注意

加湿器の取り付けは、必ずエアコン本体を据え付ける前に行ってください。

1. 加湿器の搬入は取り付ける場所まで梱包のまま搬入してください。
2. 加湿器の取付作業は二人以上で行ってください。
3. 加湿器本体を持ち運ぶ際は、加湿器本体の両端を持って行ってください。
※加湿器本体の中心に力がかかるような持ちかたをすると、加湿器本体が変形するおそれがあります。
4. 点検口を設置してください。またサービススペースを確保してください。
5. エアコン本体および加湿器のサービスが妨げられないよう、事前に冷媒配管・ドレン配管の経路をご確認ください。
6. 据え付けは室内ユニットおよび加湿器の重さに十分耐える強度のある場所を選んでください。

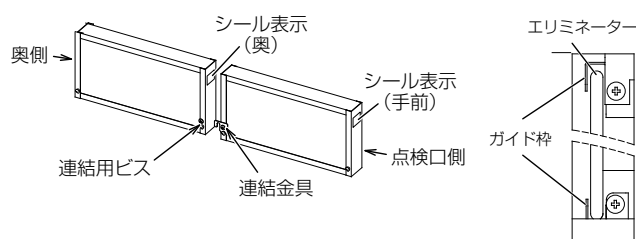
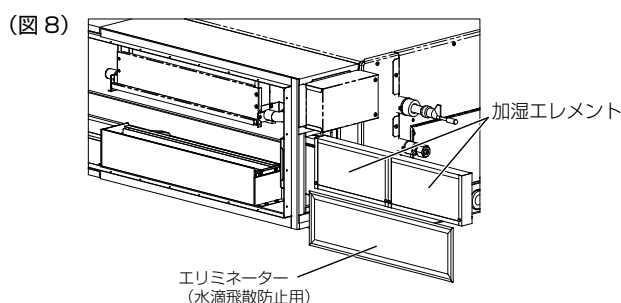
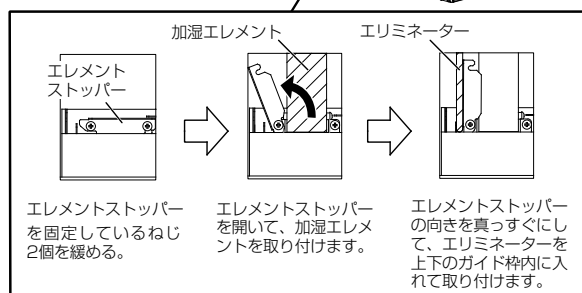
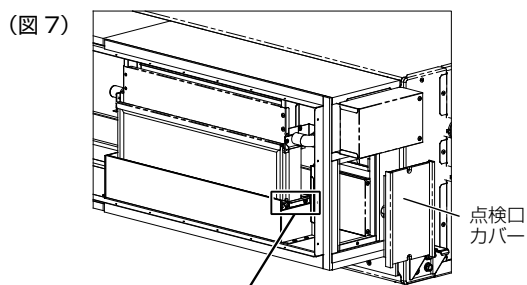
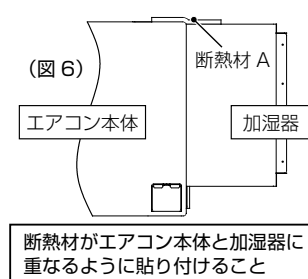
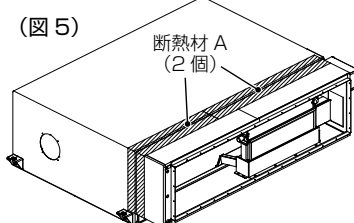
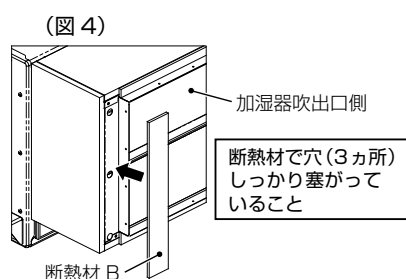
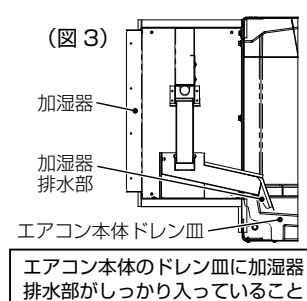
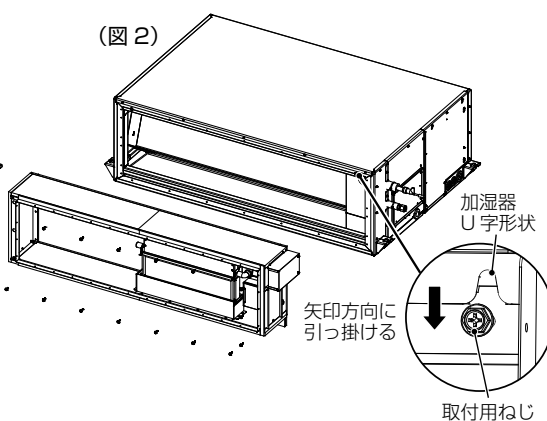
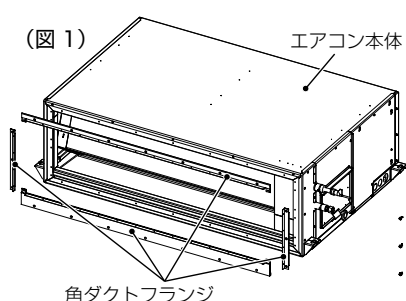
サービスに必要なスペース



4. 取り付けかた

取付手順

1. エアコン本体の吹出口に組付けの角ダクトフランジを取りはずしてください。(図 1)
※加湿器の吹出口はフランジ形状となっているため、はずしたフランジは取り付ける必要はありません。
2. エアコン本体の吹出口上側両端のねじを仮止めして、加湿器を引っ掛けてください。(図 2)
※ねじは取りはずした物をご使用ください。
3. 残りのねじ穴すべてにねじを締め付けたあと、仮止めしたねじ 2 本を締め付けます。(図 2)
※加湿器の排水部がエアコン本体のドレン皿に確実に入っていることを確認してください。(図 3)
4. 加湿器吹出口左側の穴 3 カ所が空いている面を付属の断熱材で塞ぎます。(図 4)
※浮き、隙間などがあると空気が漏れて、結露の原因となりますので、しっかりと穴が塞がれていることを確認してください。
5. 天板面と左側面に付属の断熱材をエアコン本体と加湿器に重なるように貼り付けます。(図 5、図 6)
6. 加湿器側面の点検口カバーのねじ 2 本をはずし、点検口カバーを取りはずします。(図 7)
7. 本体のエレメントストッパーの左右 2 本のねじを緩めて、エレメントストッパーを開きます。(図 7)
8. 付属の加湿エレメントを連結金具を引っ掛けるようにして、加湿器に取り付けてください。(図 8)
加湿エレメントには気流方向がありますので間違えないようにご注意ください。
9. 付属のエリミネーターを加湿器に取り付けてください。(図 8)
10. エレメントストッパーを元の通り取り付け、点検口カバーも元の通り取り付けください。



電気配線

1. エアコン本体の電気部品箱カバーをはずします。(図 1)
2. 端子台固定板の固定ねじ 2 本をはずし、固定板を上に取り上げて浮かした状態にします。(図 2)
3. リレーボックスから出ている丸端子付きのリード線を端子台固定板のグロメット穴とエッジサドル穴に通します。(図 3)
4. 丸端子リード線を入出力基板上の OUT1 に接続します。(図 4)
5. 付属の入出力基板上の SW1 の矢印を回し、番号を「9」に設定します。(図 4)
6. 短絡コネクタが入出力基板の CN3(白) に接続されていることを確認してください。(図 4)
7. 付属の通信ケーブルを入出力基板の CN1(赤) に差し込み、もう片方を本体ファン制御基板の CN505(赤) に差し込みます。(図 4)

⚠ 警告

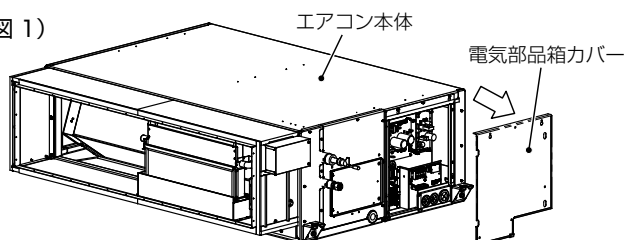
電気配線作業は配線材に傷を付けないように行う配線材に損傷があると、動作不良や発熱・火災の原因になります。

⚠ 注意

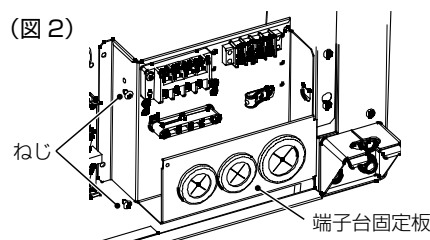
- 短絡コネクタが接続されていることを確認する
結線しないと水漏れの原因になります。
- 入出力基板の SW1 を「9」に設定する
設定番号を間違えると水漏れの原因となる場合があります。

8. 付属のスペーサー 3 個をノイズフィルター基板横の板金角穴に取り付け、入出力基板を取り付けます。(図 5)
9. 端子台固定板を元通り取り付けます。
10. リレーボックスから出ているコネクタ(黄) 付きのリード線を端子台固定板のグロメット穴を通して、本体内に引き込みます。(図 6)
11. 室内制御基板の CN309(黄) にコネクタを差し込みます。(図 6)
12. 2 本のリード線を本体下面を通して、付属のクランプ 2 個で固定します。(図 7)
13. 室内制御基板と入出力基板との通信設定を行います。
設定は「室内 PC 板と入出力基板との通信設定」(6, 7 ページ) に従って実施してください。
14. ヒューミディスタットをご使用になる場合は、加湿器の電気結線図を参考に加湿器リレーボックスの端子台の短絡線ははずして、ヒューミディスタット用配線を接続してください。(図 8)
なおヒューミディスタットおよび配線材は現地手配です。

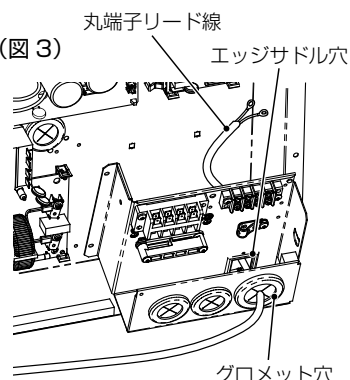
(図 1)



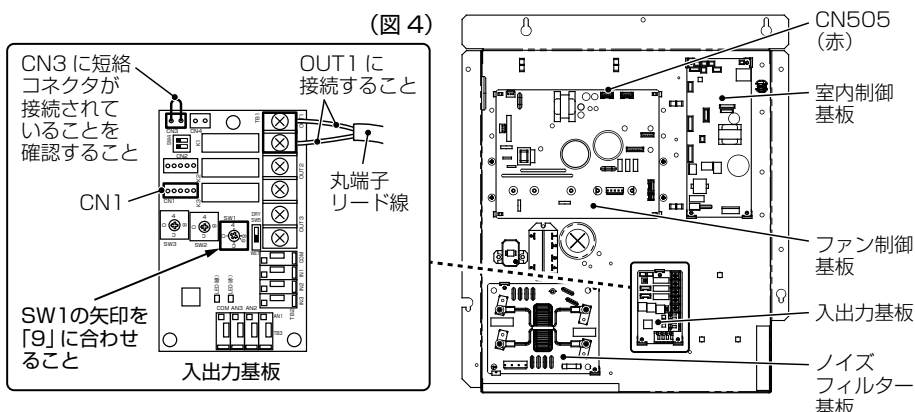
(図 2)



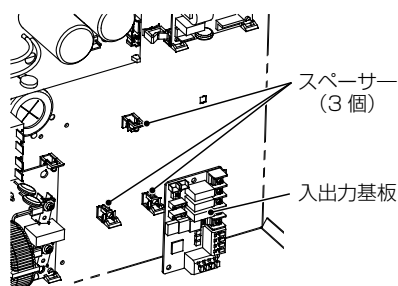
(図 3)



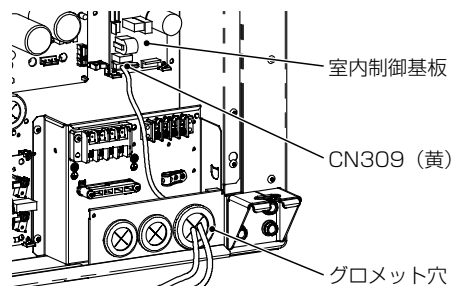
(図 4)



(図 5)

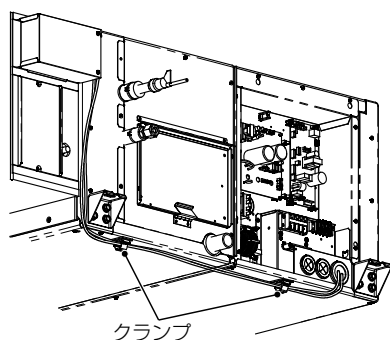


(図 6)

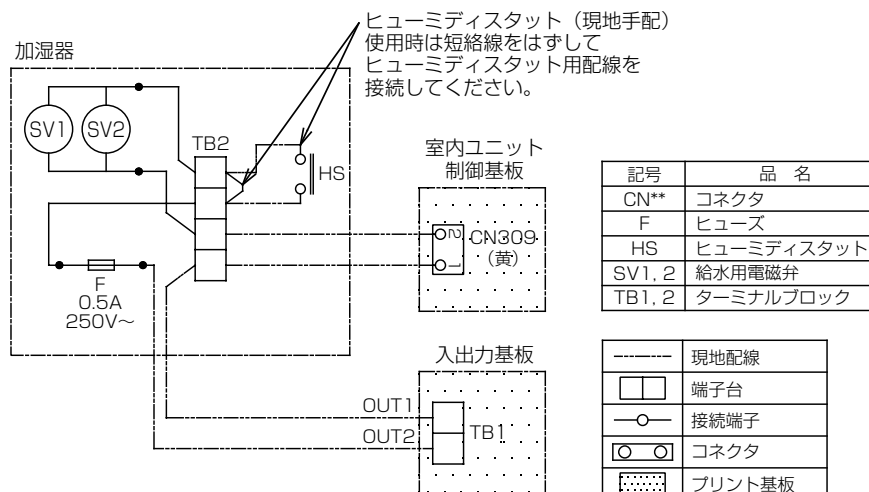


電気配線 つづき

(図 7)



(図 8)



給水配管

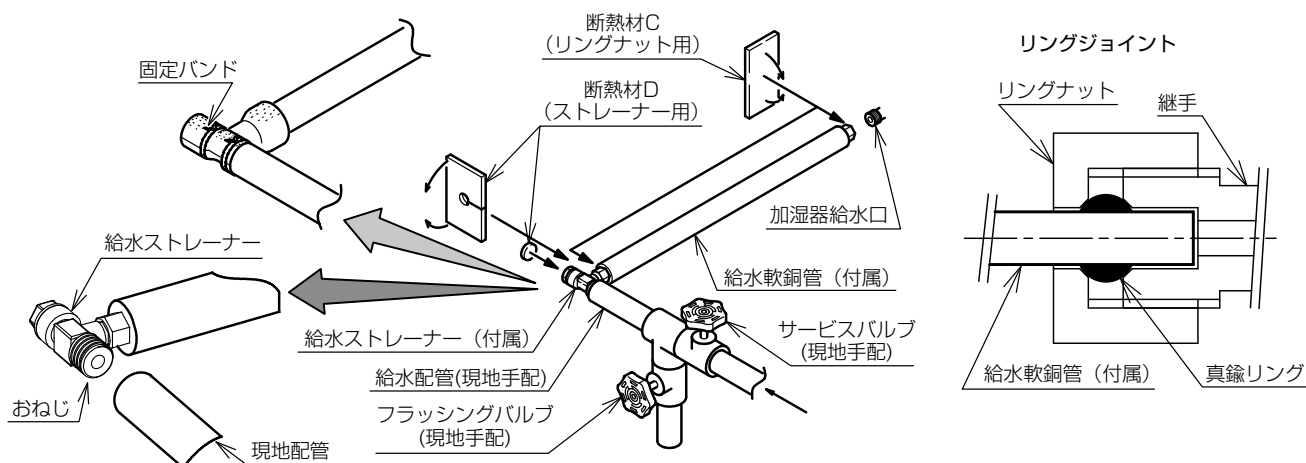
1. エアコンの据付説明書に従ってエアコン本体を据え付けてから行ってください。
2. 現地給水管内の油分・塵埃などを除去するために、配管接続前にバケツなどで水を受けながら、十分なフラッシングを行ってください。

お願い

配管内のフラッシングは必ず行ってください

フラッシングが不十分ですと、加湿エレメントが濡れなかったり、異臭の原因となる場合があります。

3. 付属の給水軟銅管内にゴミが入っていないことを確認し、加湿器本体の給水口に給水軟銅管を接続してください。（締め付けトルク 10 ～ 15N・m 程度）
4. 図に従って現地手配の給水配管をしてください。
5. 付属の給水ストレーナー〔接続部は R1/2（1/2 おねじ）〕を現地手配の給水管に接続してください。
加湿器と給水ストレーナーの接続はリングジョイント式です。図を参照の上接続してください。
6. 水漏れ確認を行ってください。
7. 給水ストレーナーに付属の断熱材 D を取り付け、付属の固定バンドで固定してください。
8. リングナット部に付属の断熱材 C を貼り付けてください。（2 ヲ所）
9. 現地手配給水配管にも、断熱処理を行ってください。（断熱材：現地手配）
給水配管内の水が凍結した場合、水の体積膨張により配管や接続部を破壊し、漏水の原因となります。



室内PC板と入出力基板との通信設定

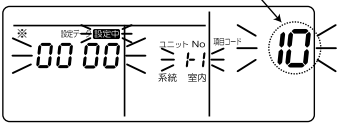
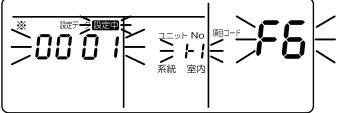
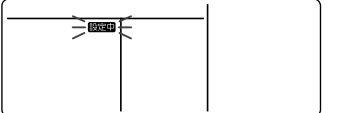
- 室内ユニットに通電できる場合は、①ワイヤードリモコン使用時、③省エネneoリモコン使用時の設定方法に従って設定してください。
 - 室内ユニットに通電できない場合は、②ワイヤレスリモコン使用時の設定方法に従って設定してください。
- ※本設定を行わないと加湿運転しません。

① ワイヤードリモコン使用時

エアコンの電源ブレーカーを入れてください。
運転停止中に設定を行います。(エアコンは必ず運転を停止させてください。)

項目コード設定時のお願い

下記記載項目コード以外、絶対に設定しないでください。
もし記載以外の項目コードを設定すると、運転できないなどの製品トラブルになります。

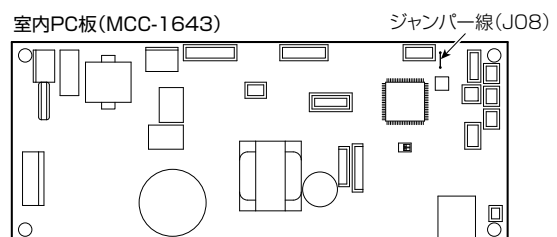
手順	操作内容
1	<p>「点検」＋「セット」＋「取消」ボタンを4秒以上同時に押すと、しばらくして表示部が図のように点滅します。 表示された項目コードが「10」になっていることを確認してください。</p>  <p>(※室内ユニットの機種で表示が変わります)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 項目コードが「10」以外の場合は、「点検」ボタンを押して表示を消し、最初からやり直してください。 (「点検」ボタンを押したあと、約1分程はリモコン操作を受け付けません。) (グループ制御の場合、最初に表示される室内ユニットNoが親機となります。) <p>「ユニット選択」ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニットNoを順次表示しますので、設定を変える室内ユニットを選択します。 このとき、選択された室内ユニットのファンが動作しますので、設定変更する室内ユニットの位置を確認できます。</p>
2	<p>温度設定の「▼」／「▲」ボタンで、項目コード「F6」を指定します。</p> 
3	<p>タイマー時間の「▼」／「▲」ボタンで、「0000」→「0001」にします。</p>
4	<p>「点検」ボタンを押します(設定が確定する)。 「点検」ボタンを押すと、表示が消え通常停止状態となります。 (点検ボタンを押すと「設定中」が点滅し、約1分程はリモコン操作を受け付けません。)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 「点検」ボタンを押したあと、1分以上経過してもリモコン操作を受け付けない場合は、アドレス設定を誤っていることが考えられます。この場合は、再度自動アドレス設定に入りますので、手順1より設定変更をやり直してください。
5	<p>1～3同様の手順で 項目コード(DN)「40」のデータが「0001」 項目コード(DN)「D9」のデータが「0002」^① に設定されていることを確認してください。 設定されていない場合は①を設定してください。</p>

② ワイヤレスリモコン使用時(または、通電できない場合)

ワイヤレスリモコン使用時または通電できない場合に室内PC板のジャンパー線(J08)をカットして設定する方法がありますが、一度設定すると元に戻りませんので注意が必要です。

(元に戻す場合は、(J08)部を半田コテを使用してジャンパー線でつないでください。)

※ジャンパー線(J08)をカットするときは、近くのジャンパー線(J01)と間違えないように注意してください。



③ 省エネ NEO リモコン使用時

エアコンの電源ブレーカーを入れてください。
運転停止中に設定を行います。(エアコンは必ず運転を停止させてください。)

1 「 メニュー」を押してメニュー画面にします。

2 「 メニュー」と「」を同時に4秒以上長押しして現地設定メニューにします。

3 現地設定メニュー画面で「」「」を押して「詳細データ設定」を選んで「 設定/決定」を押します。

- 「サービス用です。設定変更が必要ですか?」と表示されるので、変更を行う場合は「 設定/決定」を押します。

4 「」「」を押して「室内機」を選択し、「 設定/決定」を押します。

- 室内ユニットのファンが動作します。グループ接続を行っている場合は、選択している室内ユニットのファンが動作します。

5 「」を押すと項目コード (DN) が白黒反転表示するので、「」「」を押して項目コードを「F6」に設定します。

詳細データ設定	
●室内機	
項目コード (DN) I. DN	
室外機	
項目コード (DN) O. DN	
戻る	設定

詳細データ設定	
項目コード (DN) I. DN	データ 0000
00F6	
戻る	確定

6 「」を押すとデータが白黒反転するので、「」「」を押してデータを「0001」に設定します。

詳細データ設定	
項目コード (DN) I. DN	データ 0001
00F6	
戻る	確定

7 「 設定/決定」を押して設定を確定させます。

- 「他のデータ設定を行いますか?」と表示されます。他の項目コード (DN) のデータ設定を行う場合は「 設定/決定」を押します。
- 他の設定を行わない場合は「 戻る」を押します。「」の画面がしばらく表示されたあと、現地設定メニュー画面に戻ります。

詳細データ設定	
他のデータ設定を行いますか?	
いいえ	はい

8 3～7 同様の手順で項目コード (DN) [40] のデータが [0001] 項目コード (DN) [D9] のデータが [0002]]^①に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は①を設定してください。

9 「 戻る」を押して戻ります。

試運転

- 給水用サービスバルブを開けて通水してください。
 - エアコンの運転スイッチを「暖房」にしてください。
 - 温度設定を希望の温度にします。
 - ヒューミディスタットの湿度設定目盛を最大にします。
 - 『運転/停止』ボタンを押します。暖房運転と加湿運転を開始します。
 - 運転を停止するには再び、『運転/停止』ボタンを押します。
 - 暖房 (加湿) 運転開始後、30 分ほど運転し、エアコン吹出口より加湿エレメントが一樣に濡れていることを確認してください。
 - ヒューミディスタットの設定を変化させて、加湿器の ON、OFF が正常であることを確認してください。
 - 加湿器の運転は圧縮機とインタロックしていますので、圧縮機が停止しているときは加湿器も停止します。
 - 暖房 (加湿) 運転停止後、加湿エレメントを乾燥させるため最大 90 分間ファンが動きます。
- MMD 機種は、機械保護を優先し、ファンが動かない場合もあります。

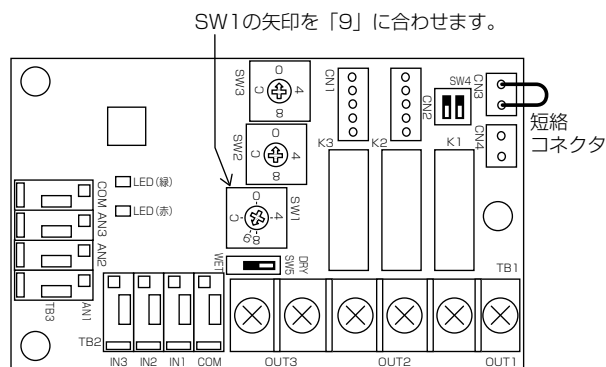
< 加湿運転ができない場合 >

- 入出力基板上の SW1 の矢印を「9」に設定していないと、通信異常となり加湿器の運転ができません。また、設定番号を間違えると水漏れの原因となる場合がありますので、番号を必ず確認してください。
- エアコン電気部品箱の蓋を開けて入出力基板上の LED 表示を確認してください。

LED (赤) 点灯: 正常 点滅: 異常
LED (緑) 点灯: 正常 消灯: 異常

SW1 を「9」に設定する場合は、運転停止中に行ってください。また入出力基板のリモコン設定がされていない場合は、左記

室内 PC 板と入出力基板との通信設定 により設定してください。



⚠ 注意

エアコン設置後は電源スイッチを入れたままにする
万一、給水用電磁弁がゴミかみなどにより閉じなくなった場合の漏水を防止します。

